

2024年 8月 8日

# サトーホールディングス株式会社

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

証券コード : 6287

FY24 Q1実績

資本コストや株価を  
意識した経営の実現に向けて

FY24 Q1実績

資本コストや株価を  
意識した経営の実現に向けて

## 決算のポイント

## ■ Q1（4～6月）実績

- 連結で前年同期比増収・増益。売上・営業利益ともに第1四半期として過去最高
- 海外・日本の全事業で増収・増益
  - ✓ 海外ベース事業：増収・増益
  - ✓ 海外プライマリー専業：増収・増益
  - ✓ 日本事業：増収・増益
- 計画比の売上・営業利益は、海外事業が上振れ、日本事業は下振れ
  - ✓ 海外はベース事業のアジア・オセアニアとプライマリー専業が計画比で好調に推移
  - ✓ 日本はメカトロ販売が回復傾向も、計画は未達

## 事業セグメント別売上高及び営業利益

（単位：百万円）

		FY23	FY24	前年比		
				現地通貨ベース		
連結	売上高	33,989	37,674	+10.8%	+10.0%	
	営業利益	2,160	2,864	+32.6%	+49.8%	
海外	ベース事業	売上高	11,776	13,355	+13.4%	+4.0%
		営業利益	1,003	1,277	+27.3%	+21.5%
	プライマリー專業	売上高	4,676	5,966	+27.6%	+45.2%
		営業利益	1,118	1,301	+16.4%	+52.8%
	消去	営業利益	47	7	-84.9%	-84.9%
	計	売上高	16,452	19,321	+17.4%	+15.7%
営業利益		2,169	2,586	+19.2%	+35.3%	
日本	売上高	17,536	18,353	+4.7%	+4.7%	
	営業利益	-210	186	-	-	
消去	営業利益	201	92	-54.1%	-54.1%	

## 業績

（単位：百万円）

	FY23	FY24	増減	前年比
売上高	33,989	37,674	+3,685	+10.8%
営業利益	2,160	2,864	+704	+32.6%
営業利益率	6.4%	7.6%	+1.2pt	-
経常利益	2,071	2,411	+339	+16.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,304	1,197	-107	-8.2%
実行税率	29.4%	41.0%	+11.6pt	-
EBITDA	3,389	4,174	+785	+23.2%

為替感応度：すべての通貨が1円/USDの円安に連動した場合、売上高+503百万円、営業利益+19百万円（FY24通期計画ベース）

FY24 Q1 為替レート（期中平均）：155.85円/USD, 167.84円/EUR （FY23 Q1 同為替レート：137.49円/USD, 149.58円/EUR）

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

・減価償却 FY24 Q1：1,270百万円

・のれん償却 FY24 Q1：38百万円

FY23 Q1：1,191百万円

FY23 Q1：37百万円

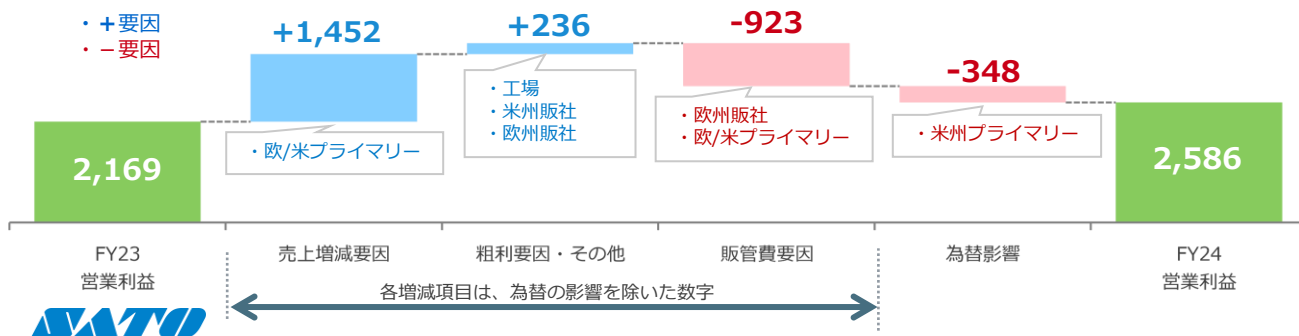
## 総括

（単位：百万円）

	FY23	FY24	増減	増減	
				前年比	現地通貨ベース
ベース事業 売上高	11,776	13,355	+1,578	+13.4%	+4.0%
プライマリー專業 売上高	4,676	5,966	+1,290	+27.6%	+45.2%
<b>売上高 計</b>	<b>16,452</b>	<b>19,321</b>	<b>+2,868</b>	<b>+17.4%</b>	<b>+15.7%</b>
粗利額	6,385	7,964	+1,579	+24.7%	-
粗利率	38.8%	41.2%	+2.4pt	-	-
ベース事業 営業利益	1,003	1,277	+273	+27.3%	+21.5%
プライマリー專業 営業利益	1,118	1,301	+183	+16.4%	+52.8%
消去 営業利益	47	7	-40	-84.9%	-84.9%
<b>営業利益 計</b>	<b>2,169</b>	<b>2,586</b>	<b>+417</b>	<b>+19.2%</b>	<b>+35.3%</b>
営業利益率	13.2%	13.4%	+0.2pt	-	-

※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む

## 営業利益 前年との比較



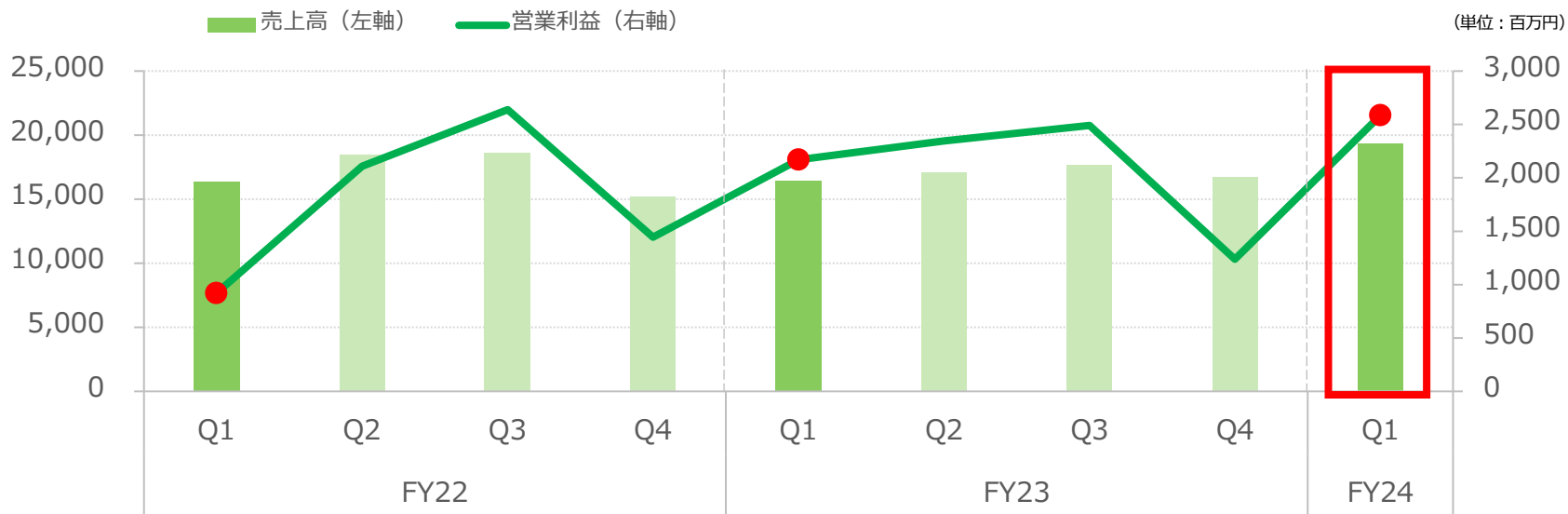
## 売上

- ・ベース事業はアジア・オセアニアがけん引して増収
- ・プライマリー專業は全般に堅調に推移して増収

## 営業利益

- ・ベース事業で代理店でのプリンタ在庫調整が一巡し、工場収益の改善により増益
- ・プライマリー專業での高付加価値商品の販売増が寄与して増益

## 売上高・営業利益 推移



売上高	16,394	18,483	18,626	15,153	16,452	17,104	17,648	16,725	19,321
前年比	+26.8%	+49.6%	+35.1%	+12.9%	+0.4%	-7.5%	-5.3%	+10.4%	+17.4%
営業利益	919	2,109	2,637	1,445	2,169	2,346	2,490	1,238	2,586
前年比	-21.8%	3.0倍	2.4倍	+44.0%	2.4倍	+11.2%	-5.6%	-14.3%	+19.2%



## 米州 ベース事業

（単位：百万円）

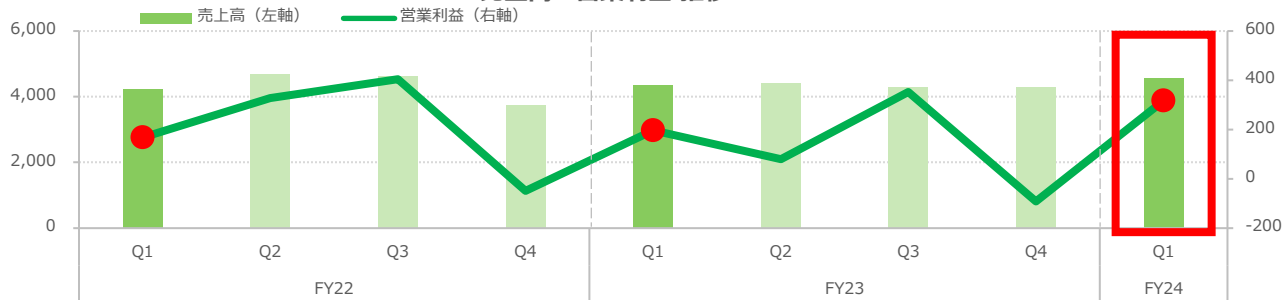
	FY23	FY24	増減	前年比	現地通貨ベース
売上高	4,353	4,568	+214	+4.9%	-0.8%
営業利益	197	318	+120	+61.3%	+77.0%

※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む

## 売上

- ・米国で景気後退の影響を受けたものの、為替の好影響とリテール市場むけコト売りで増収

売上高・営業利益 推移



## 営業利益

- ・米国での貸倒引当金戻入を主因に増益

売上高	4,214	4,694	4,626	3,731	4,353	4,412	4,293	4,274	4,568
前年比	+21.8%	+58.1%	+30.2%	+8.0%	+3.3%	-6.0%	-7.2%	+14.6%	+4.9%
営業利益	168	328	405	-49	197	80	352	-92	318
前年比	-32.9%	87.3倍	+81.1%	-	+17.0%	-75.5%	-13.1%	-	+61.3%

## 欧州 ベース事業

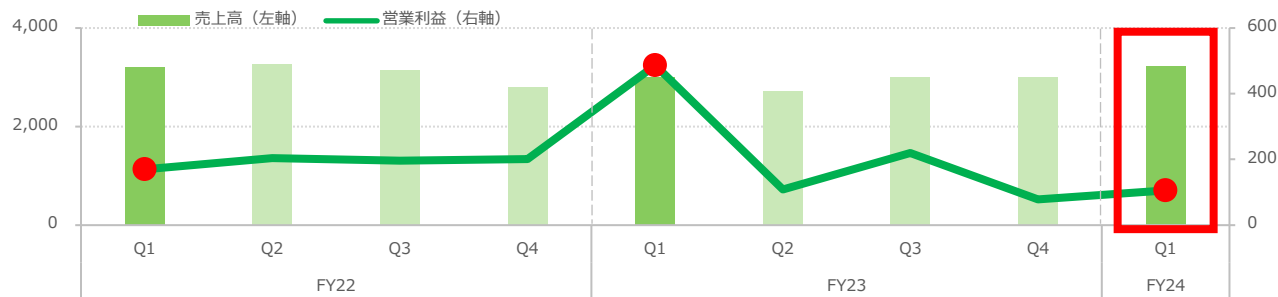
（単位：百万円）

	FY23	FY24	増減	増減	
				前年比	現地通貨ベース
売上高	2,991	3,221	+230	+7.7%	-4.7%
営業利益	487	105	-381	-78.3%	-81.2%

## 売上

- ・在庫調整一巡による代理店むけ販売回復と為替の好影響により増収
- ・英国でリテールやフード市場むけ大口案件が寄与して増収

売上高・営業利益 推移



## 営業利益

- ・前年同期の英国年金バイアウト調整による販管費の一過性減が剥落して減益
- ・独仏での景気悪化を受けた販売不振により、販管費抑制も減益

売上高	3,195	3,268	3,149	2,789	2,991	2,714	3,008	2,999	3,221
前年比	+16.3%	+36.6%	+13.0%	+1.5%	-6.4%	-16.9%	-4.5%	+7.5%	+7.7%
営業利益	170	204	196	201	487	108	219	78	105
前年比	+46.9%	10.0倍	-0.5%	+71.1%	2.9倍	-47.1%	+11.2%	-60.9%	-78.3%

## アジア・オセアニア ベース事業

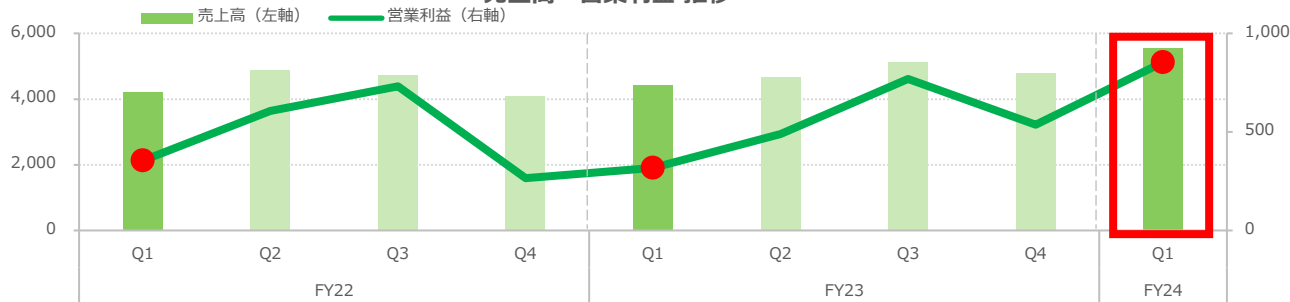
（単位：百万円）

	FY23	FY24	増減	前年比	現地通貨ベース
売上高	4,431	5,564	+1,133	+25.6%	+14.5%
営業利益	318	853	+534	2.7倍	2.4倍

## 売上

- ・豪州の大口RFID案件が寄与して好調に推移
- ・中国の回復と、台湾Argoxでの堅調な需要で増収

売上高・営業利益 推移



## 営業利益

- ・代理店のプリンタ在庫調整一巡により工場と台湾Argoxの収益が改善して増益
- ・上述の豪州大口案件が寄与して増益

売上高	4,227	4,870	4,733	4,085	4,431	4,679	5,120	4,790	5,564
前年比	+12.0%	+21.9%	+12.9%	+3.5%	+4.8%	-3.9%	+8.2%	+17.3%	+25.6%
営業利益	354	607	732	265	318	490	769	537	853
前年比	-32.6%	+43.7%	+53.2%	+30.2%	-10.0%	-19.3%	+4.9%	2.0倍	2.7倍

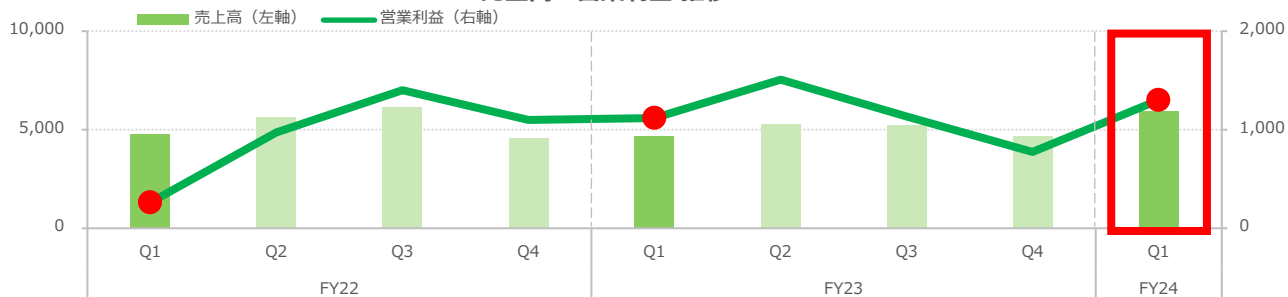
## プライマリー専業

（単位：百万円）

		FY23	FY24	増減	前年比	現地通貨ベース
米州 Achemar社（アルゼンチン） Plakorar社（ブラジル）	売上高	924	960	+36	+3.9%	2.0倍
	営業利益	228	255	+27	+12.0%	3.0倍
欧州 Okil社/X-pack社（ロシア）	売上高	3,687	4,904	+1,217	+33.0%	+31.5%
	営業利益	884	1,028	+143	+16.2%	+14.8%
アジア・オセアニア Hirich社（ベトナム）	売上高	64	101	+36	+57.2%	+42.2%
	営業利益	5	17	+12	3.2倍	2.9倍
合計	売上高	4,676	5,966	+1,290	+27.6%	+45.2%
	営業利益	1,118	1,301	+183	+16.4%	+52.8%

※ アルゼンチンにおけるIAS第29号超インフレ会計適用の影響を含む

## 売上高・営業利益 推移



売上高	4,757	5,649	6,117	4,546	4,676	5,297	5,226	4,661	5,966
前年比	+61.3%	+88.6%	+88.0%	+39.0%	-1.7%	-6.2%	-14.6%	+2.5%	+27.6%
営業利益	262	972	1,402	1,100	1,118	1,509	1,136	775	1,301
前年比	-1.9%	4.4倍	7.5倍	2.0倍	4.3倍	+55.2%	-18.9%	-29.5%	+16.4%

## 売上

- ・欧米ともに日用品むけの需要は堅調に推移
- ・欧州で高付加価値品の販売増が継続して増収

## 営業利益

- ・欧州での競争環境激化に伴う営業活動費増加を、高付加価値品の販売増でカバーして増益

総括

（単位：百万円）

	FY23	FY24	増減	前年比
メカトロ売上高	6,393	6,847	+453	+7.1%
サプライ売上高	11,142	11,505	+363	+3.3%
<b>外部売上高 計</b>	<b>17,536</b>	<b>18,353</b>	<b>+817</b>	<b>+4.7%</b>
粗利額	7,493	8,127	+634	+8.5%
粗利率	42.7%	44.3%	+1.6pt	-
<b>営業利益</b>	<b>-210</b>	<b>186</b>	<b>+396</b>	-
営業利益率	-	1.0%	-	-

メカトロ：プリンタやラベル自動貼付機器、スキャナ、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど  
 サプライ：消耗品。可変情報ラベル、RFIDタグ、プライマリーラベル（商品シール）、リボンなど

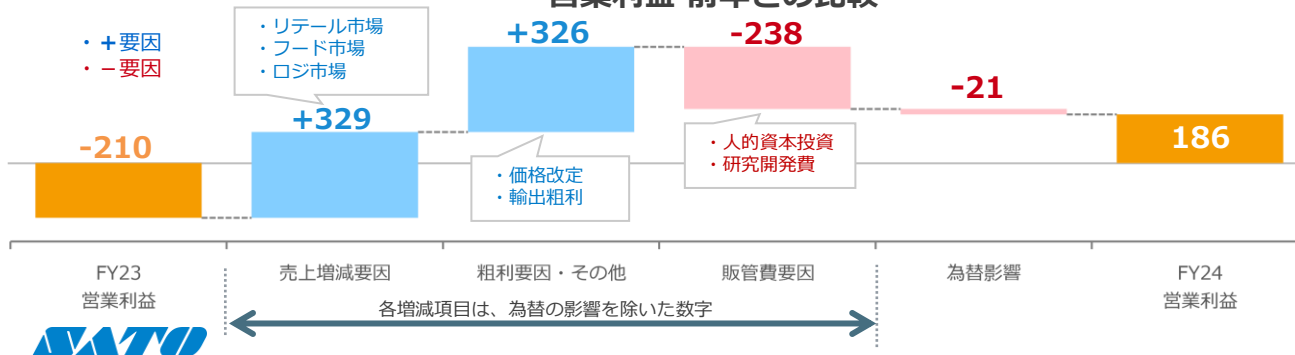
売上

- ・メカトロ：物流2024年問題関連需要をコト売りで捕捉して増収
- ・サプライ：価格改定効果やRFIDソリューション販売が奏功して増収

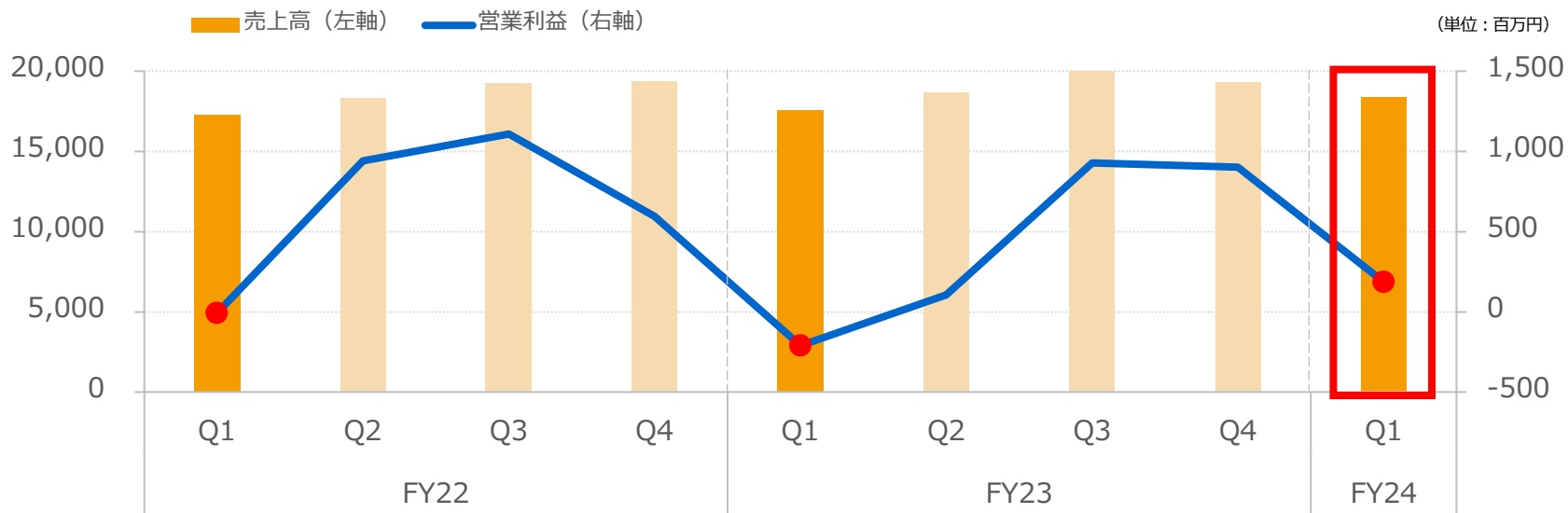
営業利益

- ・上述の増収効果と価格改定効果、プリンタ輸出増加により、販管費増加をカバーして増益

営業利益 前年との比較



## 売上高・営業利益 推移



売上高	17,291	18,294	19,244	19,336	17,536	18,692	19,980	19,305	18,353
前年比	+0.2%	+3.2%	+4.9%	+1.9%	+1.4%	+2.2%	+3.8%	-0.2%	+4.7%
営業利益	-8	941	1,108	594	-210	106	927	901	186
前年比	-	3.1倍	+38.3%	-12.8%	-	-88.7%	-16.4%	+51.5%	-

市場別売上高推移（1/2）※1

■：メカトロ ■：サプライ ※%は前年同期比

（単位：百万円）

	マニュファクチャリング	ロジスティクス ※2	リテール																																																												
売上高	<table border="1"> <caption>マニュファクチャリング売上高</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>メカトロ</th> <th>サプライ</th> <th>合計</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY22</td> <td>1,675</td> <td>3,365</td> <td>5,041</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY23</td> <td>1,620</td> <td>3,245</td> <td>4,865</td> <td>-3.5%</td> </tr> <tr> <td>FY24</td> <td>1,536</td> <td>3,362</td> <td>4,899</td> <td>+0.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	メカトロ	サプライ	合計	前年同期比	FY22	1,675	3,365	5,041		FY23	1,620	3,245	4,865	-3.5%	FY24	1,536	3,362	4,899	+0.7%	<table border="1"> <caption>ロジスティクス売上高</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>メカトロ</th> <th>サプライ</th> <th>合計</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY22</td> <td>1,021</td> <td>2,633</td> <td>3,654</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY23</td> <td>1,113</td> <td>2,884</td> <td>3,998</td> <td>+9.4%</td> </tr> <tr> <td>FY24</td> <td>1,205</td> <td>2,936</td> <td>4,141</td> <td>+3.6%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	メカトロ	サプライ	合計	前年同期比	FY22	1,021	2,633	3,654		FY23	1,113	2,884	3,998	+9.4%	FY24	1,205	2,936	4,141	+3.6%	<table border="1"> <caption>リテール売上高</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>メカトロ</th> <th>サプライ</th> <th>合計</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY22</td> <td>873</td> <td>1,632</td> <td>2,505</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FY23</td> <td>689</td> <td>1,676</td> <td>2,366</td> <td>-5.6%</td> </tr> <tr> <td>FY24</td> <td>962</td> <td>1,815</td> <td>2,777</td> <td>+17.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	メカトロ	サプライ	合計	前年同期比	FY22	873	1,632	2,505		FY23	689	1,676	2,366	-5.6%	FY24	962	1,815	2,777	+17.4%
年度	メカトロ	サプライ	合計	前年同期比																																																											
FY22	1,675	3,365	5,041																																																												
FY23	1,620	3,245	4,865	-3.5%																																																											
FY24	1,536	3,362	4,899	+0.7%																																																											
年度	メカトロ	サプライ	合計	前年同期比																																																											
FY22	1,021	2,633	3,654																																																												
FY23	1,113	2,884	3,998	+9.4%																																																											
FY24	1,205	2,936	4,141	+3.6%																																																											
年度	メカトロ	サプライ	合計	前年同期比																																																											
FY22	873	1,632	2,505																																																												
FY23	689	1,676	2,366	-5.6%																																																											
FY24	962	1,815	2,777	+17.4%																																																											
事業環境	生成AI向けなどの需要増加で半導体生産が回復。深刻な人手不足によるDX化の加速を背景に効率化投資が増大	ECやインバウンド需要の活況などによる物量増もあり全般に好調。人手不足やDX化に加え、物流2024年問題への対応ニーズが継続	食品スーパーでは店舗におけるDX化をはじめとする効率化への投資が好調。EC業界での投資も回復																																																												
当社状況	サプライ販売は半導体生産の回復により関連する電子部品・化学業界などで増加。メカトロも半導体生産の回復が寄与したものの、前年同期の自動化大口案件の反動で減少	サプライは価格改定効果と物量増により全般に増加。メカトロは物流2024年問題対応の需要を捕捉した大口案件が寄与して増加	サプライは商品小売業の回復がけん引して増加。メカトロはEC関連の大口案件や食品スーパーでのDX化投資により増加																																																												



※1 FY24Q1より保守サポート売上の一部をメカトロに計上。グラフは遡及修正後

※2 FY23Q1より一部業界を公共からロジスティクスに区分変更。グラフは遡及修正後

市場別売上高推移（2/2）※1

■：メカトロ ■：サプライ ※%は前年同期比

（単位：百万円）

	ヘルスケア	フード	公共※2																																																												
売上高	<table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Meatronics</th><th>Supply</th><th>Total</th><th>% Change</th></tr> <tr><td>FY22</td><td>668</td><td>1,427</td><td>2,095</td><td></td></tr> <tr><td>FY23</td><td>650</td><td>1,516</td><td>2,166</td><td>+3.4%</td></tr> <tr><td>FY24</td><td>644</td><td>1,624</td><td>2,268</td><td>+4.7%</td></tr> </table>	Year	Meatronics	Supply	Total	% Change	FY22	668	1,427	2,095		FY23	650	1,516	2,166	+3.4%	FY24	644	1,624	2,268	+4.7%	<table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Meatronics</th><th>Supply</th><th>Total</th><th>% Change</th></tr> <tr><td>FY22</td><td>399</td><td>1,461</td><td>1,861</td><td></td></tr> <tr><td>FY23</td><td>378</td><td>1,474</td><td>1,852</td><td>-0.5%</td></tr> <tr><td>FY24</td><td>578</td><td>1,484</td><td>2,062</td><td>+11.4%</td></tr> </table>	Year	Meatronics	Supply	Total	% Change	FY22	399	1,461	1,861		FY23	378	1,474	1,852	-0.5%	FY24	578	1,484	2,062	+11.4%	<table border="1"> <tr><th>Year</th><th>Meatronics</th><th>Supply</th><th>Total</th><th>% Change</th></tr> <tr><td>FY22</td><td>80</td><td>155</td><td>235</td><td></td></tr> <tr><td>FY23</td><td>115</td><td>314</td><td>430</td><td>+82.5%</td></tr> <tr><td>FY24</td><td>43</td><td>259</td><td>303</td><td>-29.5%</td></tr> </table>	Year	Meatronics	Supply	Total	% Change	FY22	80	155	235		FY23	115	314	430	+82.5%	FY24	43	259	303	-29.5%
Year	Meatronics	Supply	Total	% Change																																																											
FY22	668	1,427	2,095																																																												
FY23	650	1,516	2,166	+3.4%																																																											
FY24	644	1,624	2,268	+4.7%																																																											
Year	Meatronics	Supply	Total	% Change																																																											
FY22	399	1,461	1,861																																																												
FY23	378	1,474	1,852	-0.5%																																																											
FY24	578	1,484	2,062	+11.4%																																																											
Year	Meatronics	Supply	Total	% Change																																																											
FY22	80	155	235																																																												
FY23	115	314	430	+82.5%																																																											
FY24	43	259	303	-29.5%																																																											
事業環境	管理業務効率化や人手不足への対応を背景にRFIDなどへの投資が継続。全般に需要は堅調	原材料高騰や人手不足を背景に、自動化やRFID、トレーサビリティの需要が継続	全般に外部環境は安定																																																												
当社状況	サプライは価格改定効果とRFID活用需要により増加。メカトロはコロナ禍の反動による設備投資の増加が一服して横ばい	サプライは横ばい。メカトロはトレーサビリティや食品製造業の食品表示大口案件が寄与して大幅増加	サプライ、メカトロともに前年同期の大口案件の反動により減少																																																												



※1 FY24Q1より保守サポート売上の一部をメカトロに計上。グラフは遡及修正後

※2 FY23Q1より一部業界を公共からロジスティクスに区分変更。グラフは遡及修正後



## RFID/自動化ソリューション売上高 推移

Q1  
4~6月

人手不足やDX化への対応を背景に需要は堅調

RFIDは、ヘルスケア市場がけん引して増加

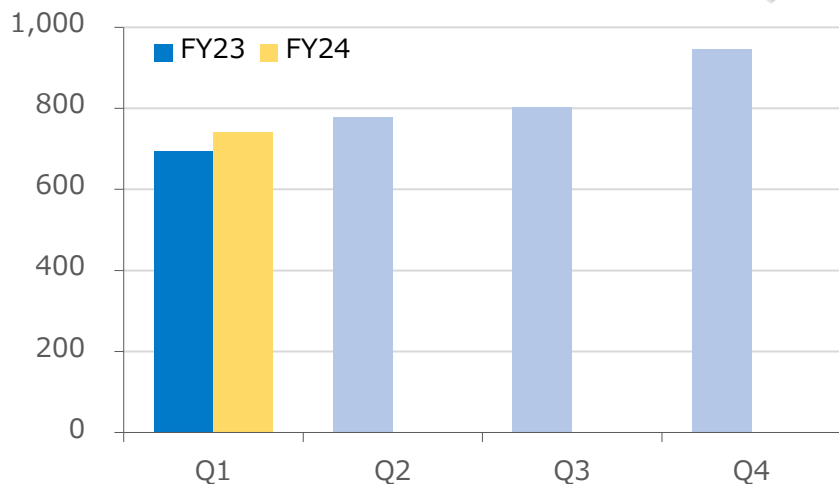
自動化は、ヘルスケア市場が伸長も、前年同期の大口案件の反動により全体で減少

(単位：百万円)

### RFID



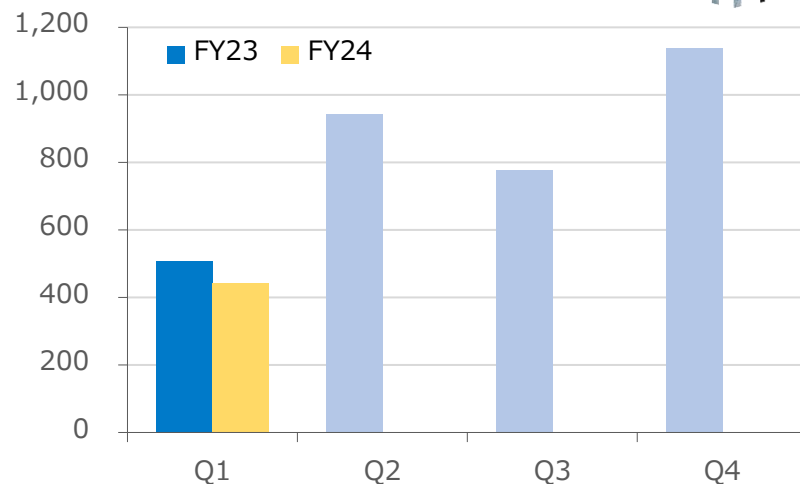
FY24 Q1 前年比：6.8%増



### 自動化<sup>※</sup>



FY24 Q1 前年比：13.0%減



※ 自動化は、ハードウェアとソフトウェアの合算（サプライと保守は除く）

## RFID/自動化ソリューション売上高 推移

Q1  
4~6月

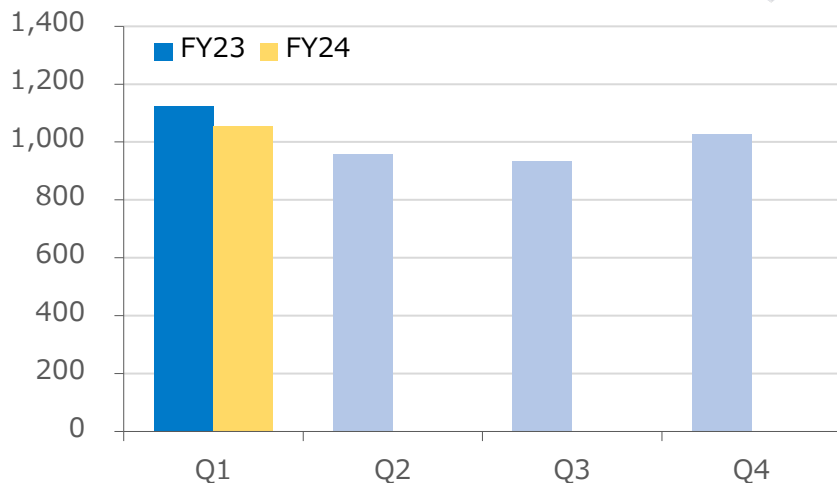
人手不足やDX化への対応を背景に需要は堅調  
RFIDは、マニュ市場が増加も、前年同期の大口案件の反動により全体で減少  
自動化は、前年同期の大口案件の反動減や、景気後退を受けて減少

(単位：百万円)

### RFID



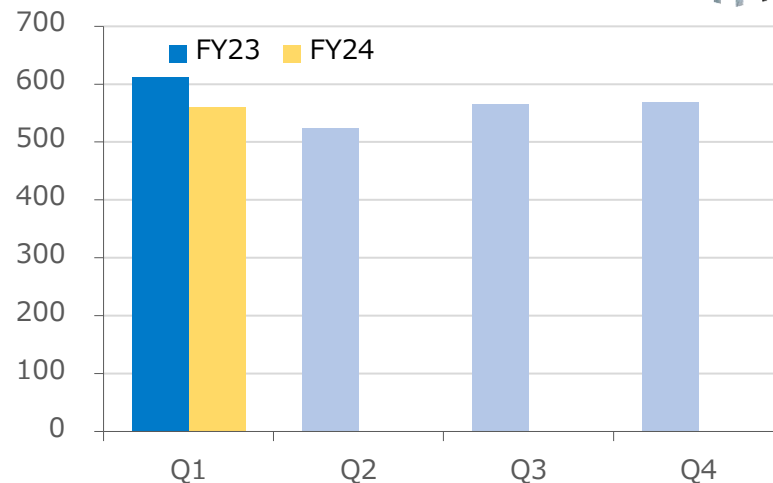
FY24 Q1 前年比：6.1%減



### 自動化<sup>※</sup>



FY24 Q1 前年比：8.5%減



※ 自動化はハードウェアのみ

## 2024年度 事業計画

（単位：百万円）

	上期		下期		通期	
	計画	前年比	計画	前年比	計画	前年比
<b>売上高</b>	73,600	+5.5%	77,400	+5.1%	151,000	+5.3%
<b>営業利益</b>	4,800	+3.9%	5,600	-2.8%	10,400	+0.2%
<b>経常利益</b>	4,700	+9.1%	5,500	+18.2%	10,200	+13.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,900	+45.6%	3,500	2.2倍	6,400	+79.5%

&lt;参考&gt;

<b>EBITDA</b> <sup>※</sup>	15,456	←2023年度通期	15,900	+2.9%
----------------------------	--------	-----------	--------	-------

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

FY24 想定レート : 145円/USD, 155円/EUR

FY24 Q1為替レート (期中平均) : 155.85円/USD, 167.84円/EUR

FY23 通期為替レート (期中平均) : 144.58円/USD, 156.74円/EUR

FY24 Q1実績

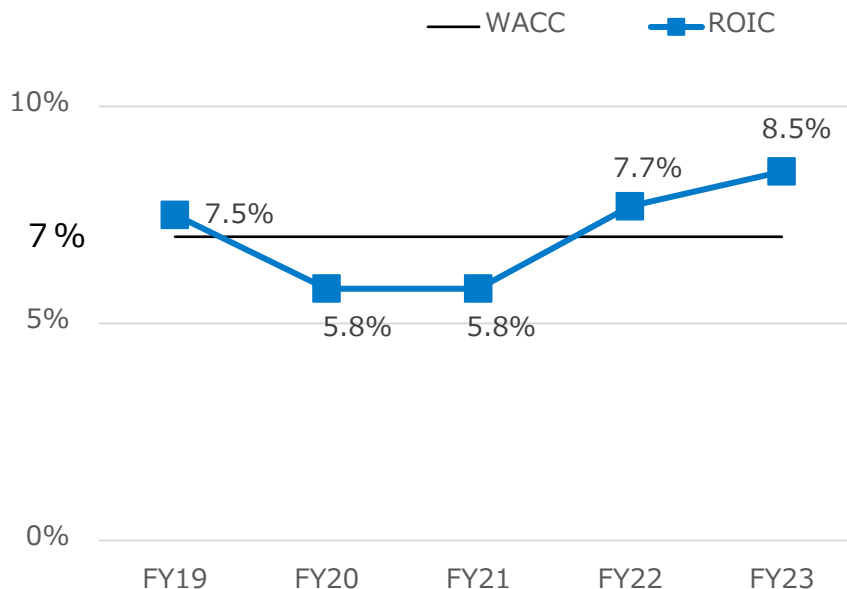
資本コストや株価を  
意識した経営の実現に向けて

当社WACCは7%と推定。足もとのROICはWACCを上回る

WACC=7% (含む、プレミアム)

- 株主資本コストはCAPMを参考に算定
- ハードルレートはリスクに応じて通貨・国単位などで個別に設定  
(例：円 7%、ドル 8%、ユーロ 7%)

WACCとROIC



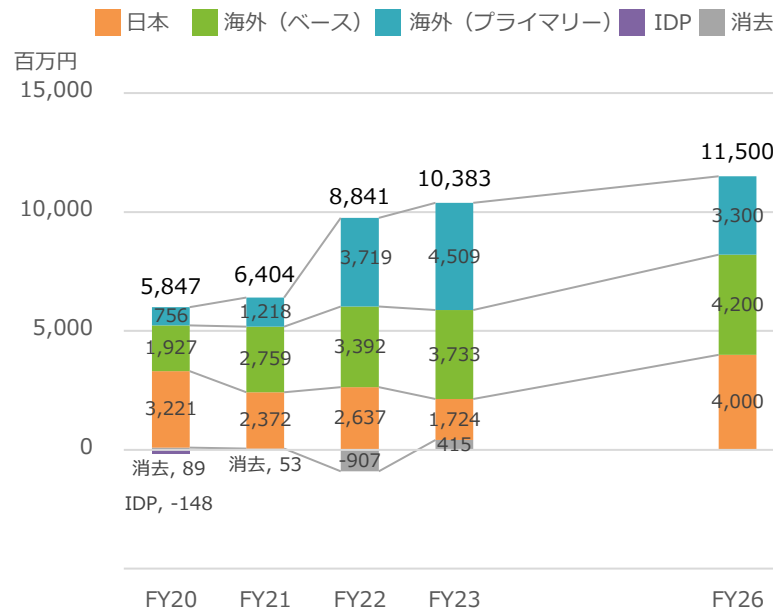
足もとでROIC> WACCだが、PBRは1.0倍付近にて推移。  
 安定収益源であるべき日本事業の停滞、変動の大きい海外プライマリー專業の比重増が要因

PBR推移



前中計

事業別営業利益



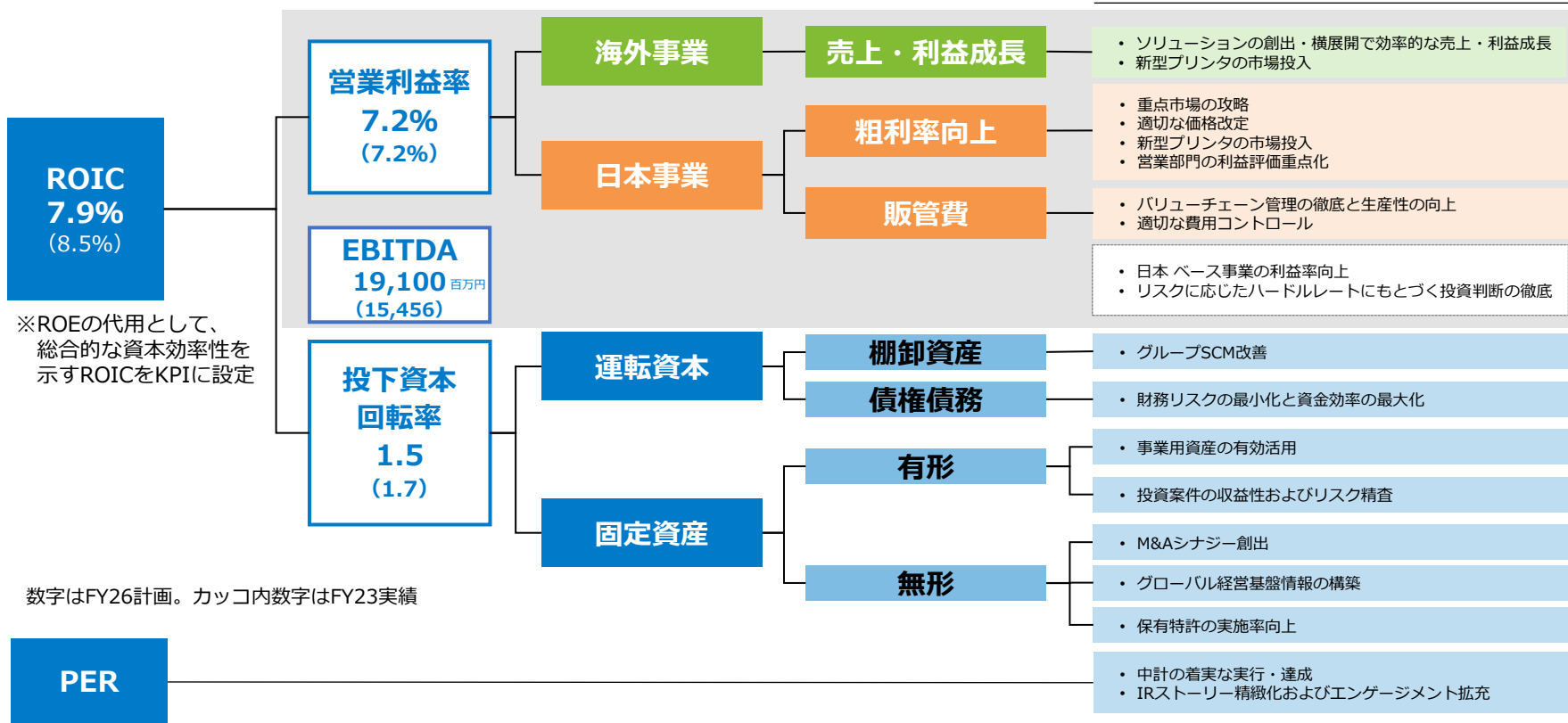
前中計

新中計

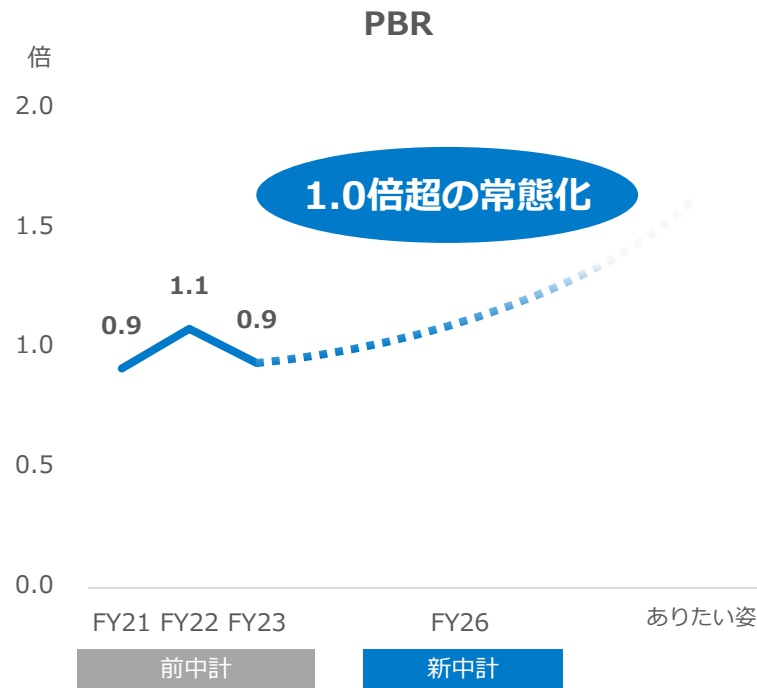
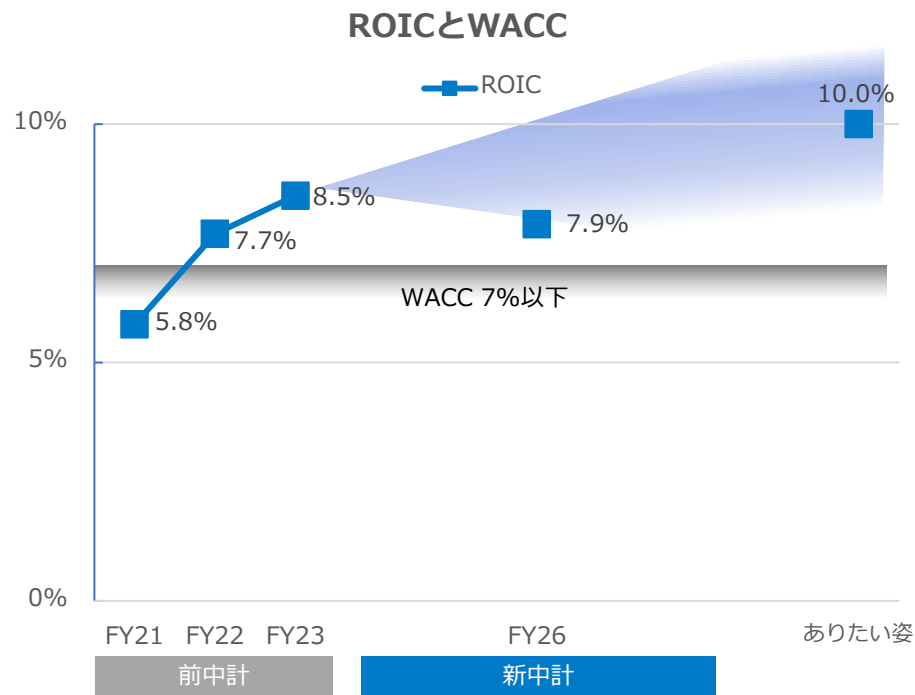


## PBR = ROE × PER ROICツリーの構成項目ごとの取り組み

### 中計施策 (FY24-28)



## ROICスプレッド拡大によるPBR 1.0倍超の常態化





利益創出力を回復し、持続的成長に資するタギング高度化に向けた戦略投資を実行  
企業価値向上により、安定的な累進配当をめざす



# Appendix

---

補足資料

P.27~P.34

用語集

P.35~P.38

連結売上高：143,446百万円（FY23） 100%

連結売上高の86%（地域別売上高構成比：米州 16%、欧州 9%、アジア・オセアニア 14%、日本 61%）

## ベース事業

メカトロ  
38%

### プリンタ



### ハンドラベラー その他ハード



### ソフトウェア



### 保守サポート



サプライ  
48%

### ラベル・タグ



14%（地域別売上高構成比：米州 18%、欧州 82%）

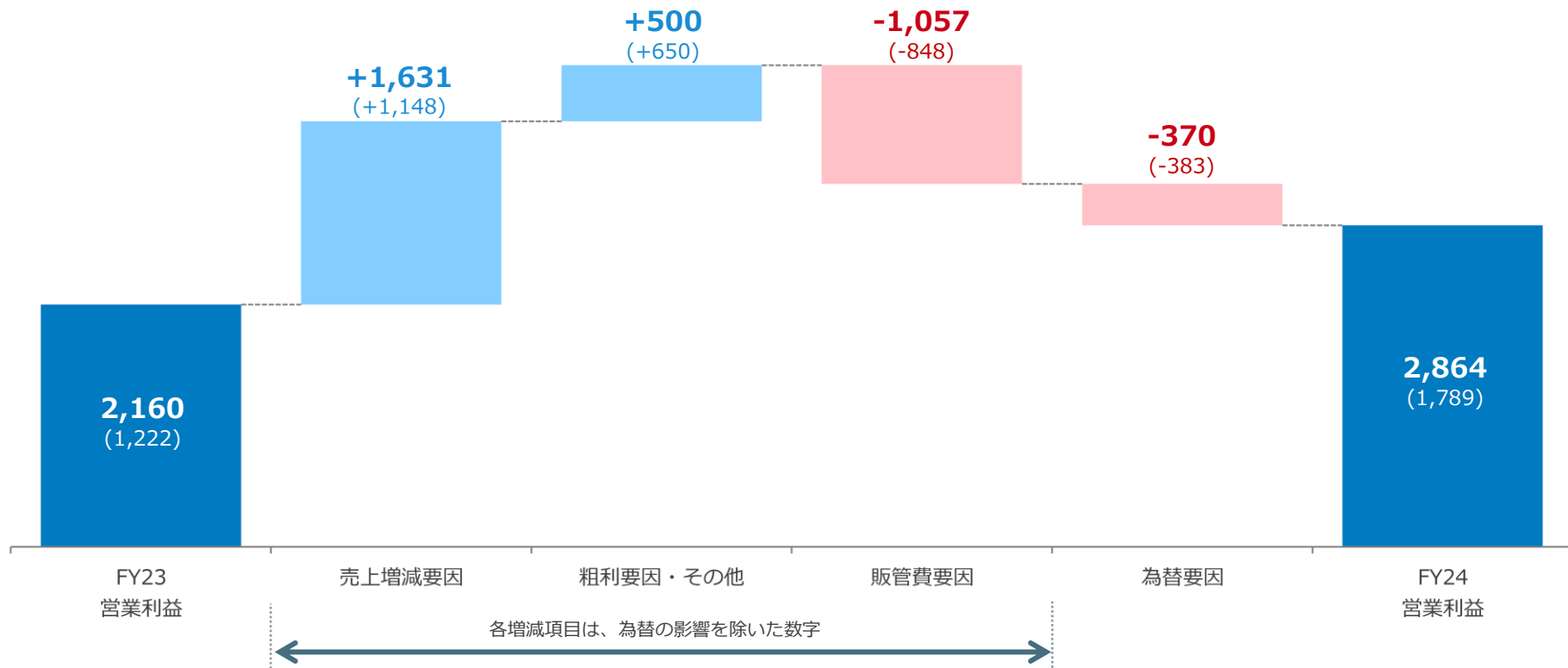
## プライマリー 専業

### シール (プライマリーラベル)



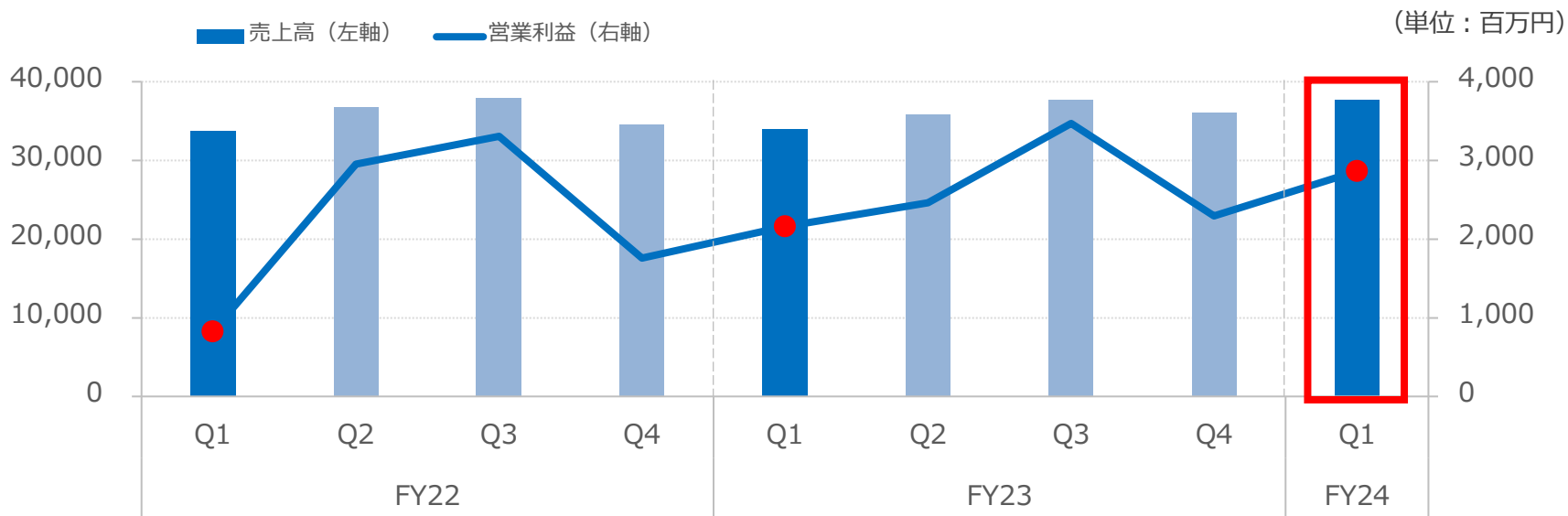
## 営業利益 前年との比較

（単位：百万円）



※カッコ内数値は、除くロシア子会社

## 売上高・営業利益 推移



売上高	33,686	36,777	37,871	34,489	33,989	35,797	37,628	36,031	37,674
前年比	+11.6%	+22.2%	+17.9%	+6.5%	+0.9%	-2.7%	-0.6%	+4.5%	+10.8%
営業利益	824	2,951	3,304	1,760	2,160	2,460	3,467	2,295	2,864
前年比	-51.7%	2.7倍	+68.3%	+6.0%	2.6倍	-16.6%	+4.9%	+30.4%	+32.6%

### 地域別売上高及び営業利益構成

(単位：百万円)

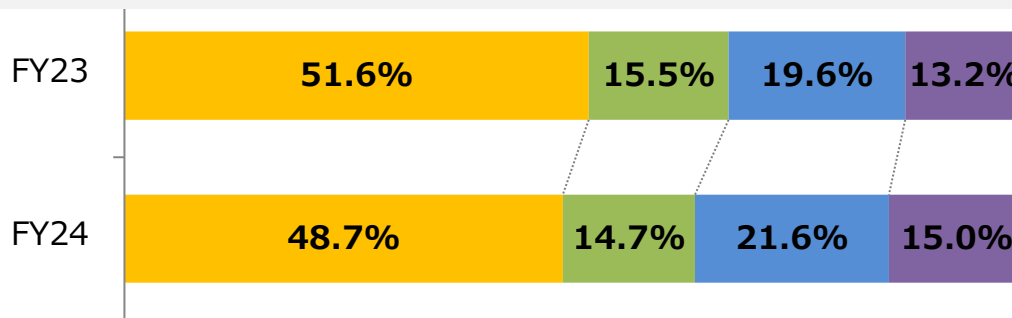
■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

#### 売上高

33,989



37,674



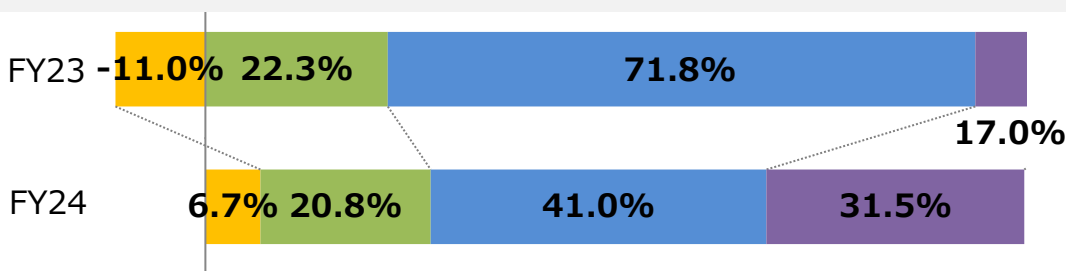
#### 営業利益

※ 構成比は消去を除く

1,959



2,772



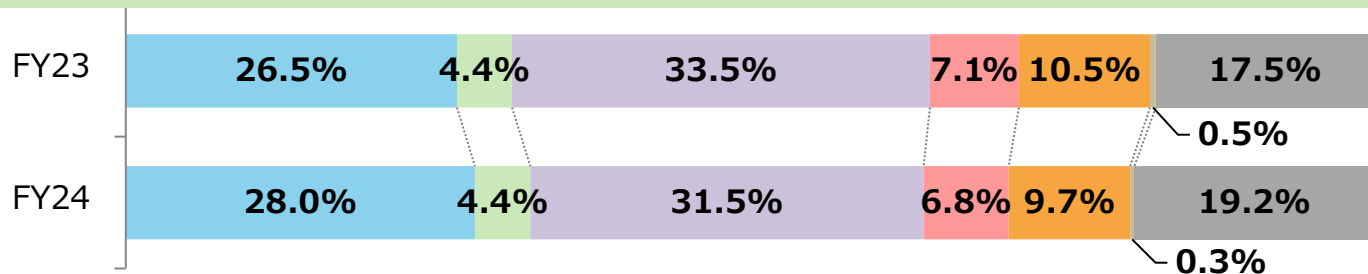
営業利益率 FY23 日本：N/A、海外：13.2%  
 FY24 日本：1.0%、海外：13.4%

### 市場別売上高構成

■ マニュファクチャリング 
 ■ ロジスティクス 
 ■ リテール 
 ■ ヘルスケア 
 ■ フード 
 ■ 公共 
 ■ その他

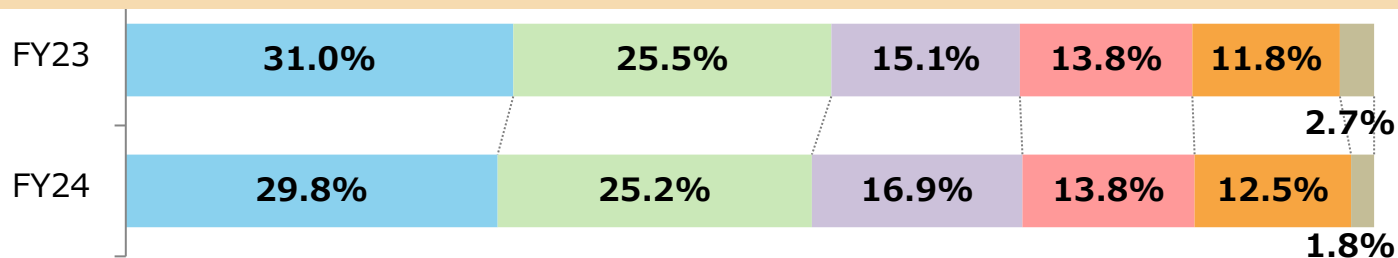
#### 海外

※ 主な販社。工場・プライマリー専門会社は除く



#### 日本

※ 保守等は除く



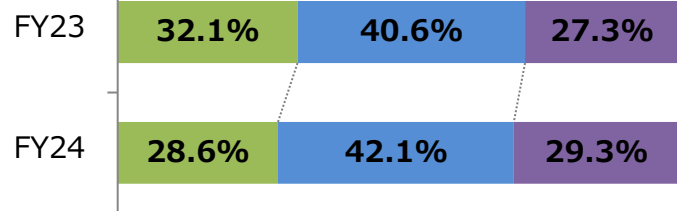
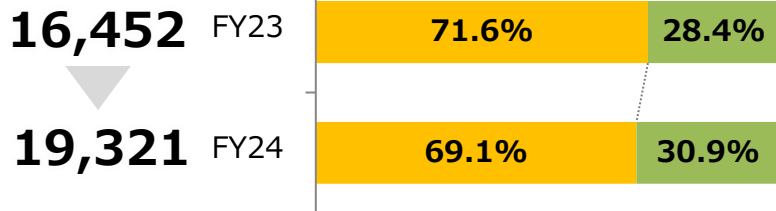
※ FY23Q1より一部業界を公共からロジスティクスに区分変更。グラフは遡及修正後

売上高及び営業利益構成（事業別・地域別）

（単位：百万円）

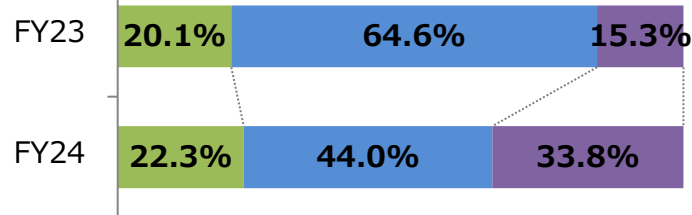
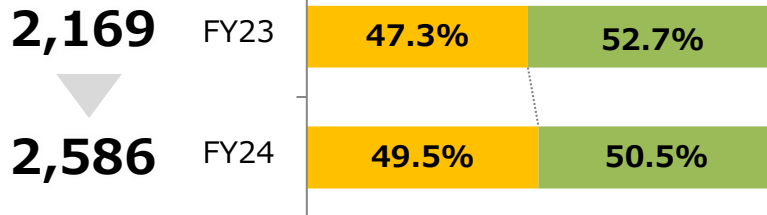
■ ベース ■ プライマリー ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

売上高



営業利益

※ 割合は消去を除く



営業利益率：

FY23 ベース：8.5%、プライマリー：23.9%

FY24 ベース：9.6%、プライマリー：21.8%

FY23 米州：8.1%、欧州：20.5%、  
アジア・オセアニア：7.2%

FY24 米州：10.4%、欧州：13.9%、  
アジア・オセアニア：15.4%





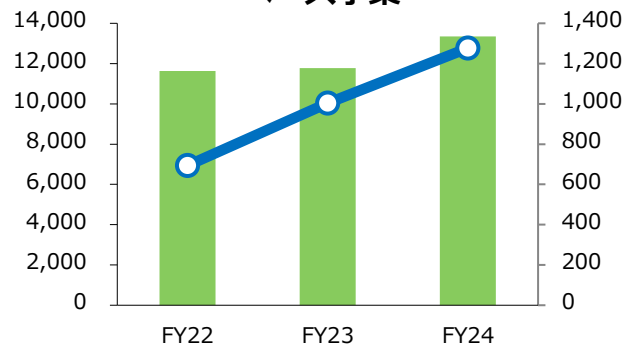
## 事業別及び地域別売上高及び営業利益推移

事業別

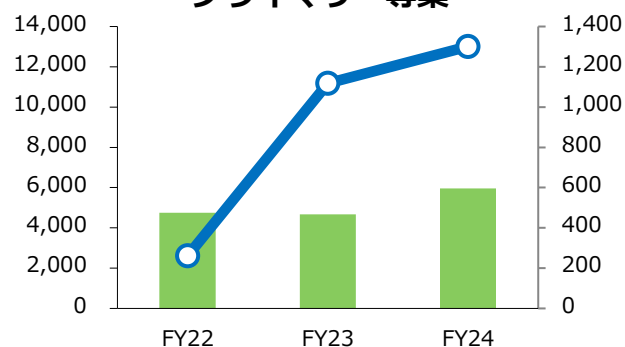
売上高 営業利益

（単位：百万円、左軸：売上高、右軸：営業利益）

ベース事業

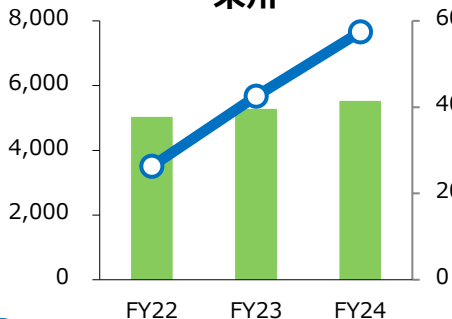


プライマリー専業

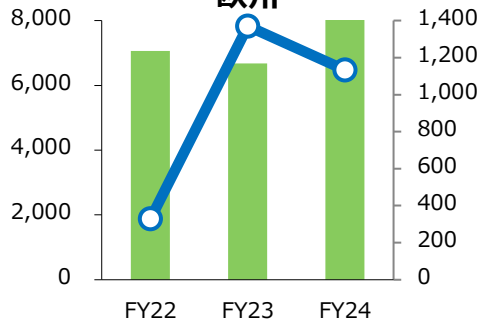


地域別

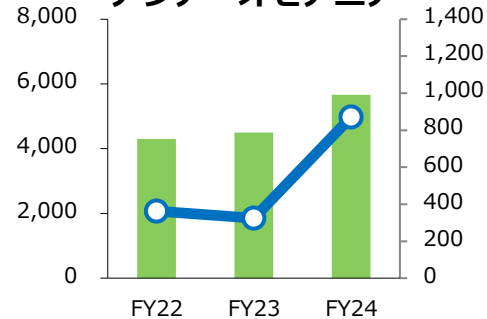
米州



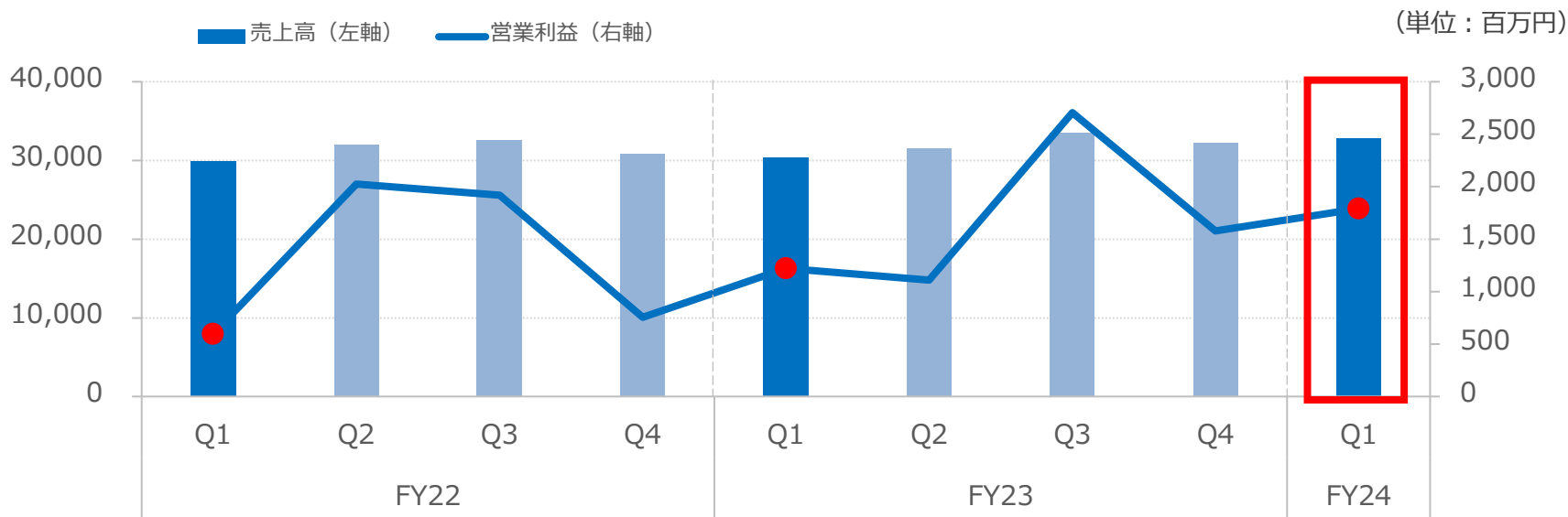
欧州



アジア・オセアニア



## 売上高・営業利益 推移（ロシア子会社を除外）



売上高	29,818	32,001	32,588	30,748	30,301	31,455	33,433	32,257	32,770
前年比	+6.8%	+15.2%	+10.5%	+2.9%	+1.6%	-1.7%	+2.6%	+4.9%	+8.1%
営業利益	598	2,024	1,919	755	1,222	1,110	2,704	1,577	1,789
前年比	-60.2%	2.3倍	+6.8%	-35.6%	2.0倍	-45.1%	+40.9%	2.1倍	+46.5%

サトー独自のコンセプト・取り組み		説明
1	自動認識ソリューション事業	<u>DCS &amp; Labeling</u> を展開。具体的には、お客さまの課題に基づいて自社で開発・製造したバーコードプリンタやラベル、自社で設計したソフトウェアやサービス、外部パートナーの技術や商品などを組み合わせて提供。本事業は海外と日本に区分され、海外は <u>ベース事業</u> と <u>プライマリー</u> 専業から構成される。
2	<b>DCS &amp; Labeling</b> (DCS: Data Collection Systems)	バーコードやRFIDなどの自動認識技術とプリンタやラベルなどの商品・サービスを活用し、さまざまな現場にあるモノや人の情報 (=Data) を正確かつ効率的に収集 (=Collection) する仕組み (=Systems) と、情報を最適な形でひも付けする <u>タグging</u> (含むLabeling) を提供するサトーグループのビジネスモデル。 また、お客さま課題の高度化を受け、オープンなイノベーションやパートナーシップを活用し、本ビジネスモデルに画像認識・音声認識や位置測位技術、センサーなど、新たな技術を組み合わせることで、お客さま課題の解決手法をさらに向上させている。
3	<b>ベース事業</b>	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など可変情報を <u>タグging</u> するビジネス。
4	<b>プライマリー専業</b>	商品ラベルなどの固定情報ラベルを <u>タグging</u> するビジネス。 <u>Achernar</u> (アルゼンチン)、 <u>Prakolar</u> (ブラジル)、 <u>Okil</u> (ロシア)、 <u>X-Pack</u> (ロシア) の4社からなる。
5	<b>タグging</b>	お客さまの現場でモノや人にIDや位置などの情報を物理的にひも付けし、現物と情報を一致させ、デジタル化された情報を活用できるようにする作業。 この「現物と情報の一致」は、商品に価格等の情報をひも付けするハンドラベラーの時代から続く。
6	<b>コト売り</b>	商品の単品売りではなくハードウェアやサプライ、保守サービス、ソフトウェア等を組み合わせたソリューションを、ROIの提示を含めて提案する売り方。単品売りの「モノ売り」に対する概念。
7	<b>PUT</b> (Perfect and Unique Tagging)	モノや人に対し、IDなどの属性情報に加え、位置情報やセンサーから得られる状態情報をひも付けることにより、完全かつ唯一無二な個体情報をトレースできるようにする高難度な課題解決手法。人手を介さず動作と一体化した全自動の読み取りで状態を識別・管理ができる。PUTを活用したソリューションにより、企業単位の現場課題だけでなく社会全体の共通課題の解決をめざす。

サトー独自のコンセプト・取り組み (続き)		説明
8	現場力	さまざまな市場・業界のお客さまの現場と向き合い、運用を理解し、課題の本質を捉えて最適な解決策を提供する力。カバレッジ(現場を知ることによって蓄積された幅広い「市場x業界x用途」の課題へ対応する力)、インテグレーション(戦略パートナーとの共創に基づき、商品・サービス・技術を統合して提供する力)、メンテナンス(継続的なソリューション提供でお客さまの信頼を醸成し、深く、長い関係を構築する力)の3つの要素で構成される。
9	三行提報	社員が現場でキャッチした、会社を良くするための情報やアイデアを約三行(100~150文字)にまとめて、毎日経営トップに直接提出する取り組み。経営トップはいち早く社内外の環境変化を把握し、迅速な意思決定や必要な施策を講じ、社員は経営者と同じ目線で物事を考える「全員参画の経営」に寄与。また経営トップに直接提出することから、不正や不適切な行為などを防ぐモニタリングとしての役割も担っており、コーポレートガバナンスの面においても効果を発揮。1976年から始まり、近年は海外拠点の導入も増えている。
商品・サービス・技術		説明
1	自動認識ソリューション	DCS & Labelingを実現するための商品・サービス。具体的にはプリンタ、ラベル、ソフトウェア、保守サポートなどの組み合わせ。加えて、近年は複雑化・多様化するお客さま課題に応えるために自前主義に拘らず、パートナーシップを推進することにより実現をめざす。例えば位置測位技術を用いてモノや人の位置情報を取得し、作業や在庫の動きをリアルタイム捕捉することで、工数・作業時間の見える化や製造工程の進捗管理を実現。
2	メカトロ商品	プリンタやラベル自動貼付機器、スキャナ、ハンドラベラーなどのハードウェア、ソフトウェア、保守サポートなど、サプライ商品以外のすべて。粗利率はサプライ商品よりも高い。プリンタはマレーシア、ベトナムおよび台湾にて製造。
3	サプライ商品	可変情報ラベル、RFIDタグ、プライマリーラベル(商品シール)、リボンなどの消耗品。粗利率はメカトロ商品よりも低いが、リピートビジネスのため販売管理費率は小さい。
4	可変情報ラベル	バーコードや商品価格、製造年月日、消費期限など、お客さまの現場で必要に応じて変化させる情報を印字する用途のラベル。必要な時に必要な分だけ発行できる点が、固定情報を一度に大量印刷するプライマリーラベル(商品シール)との大きな相違点。

商品・サービス名・技術 (続き)	説明
5 <b>RFID</b> (Radio Frequency Identification)	自動認識技術の一つ。電波を利用してデータの読み書きを行い、①複数一括読み取り、②非接触での読み取り、③遮蔽物や汚損があっても可能な読み取り、④情報の書き換え、といったバーコードには無い特性を持つ。これにより、業務効率の飛躍的な向上が可能。
6 <b>SOS</b> (SATO Online Services)	お客様のプリンタをクラウドに接続して遠隔でモニタリングを行うサービス。これにより予防保守やエラー時の早期復旧が可能となる。またお客様はプリンタの稼働・活用状況を一覧でき、資産管理が容易となる。一方サトーにとっては、予防保守の実現による保守人員の労働生産性向上や、保守人員が少ない海外におけるサポート向上に寄与。
7 <b>AEP</b> (Application Enabled Printing)	プリンタに内蔵された知能がラベル発行作業を最適化。PCを介さずにプリンタ単体で他のシステムとの連携も可能。
8 <b>バンダーマーキング</b>	納品先がバンダーやサプライヤーに対し、商品・製品の納品時に指定の情報を記載したラベルを貼りつけように依頼する取り組み。

2012年以降に買収した主な会社		説明
1	<b>Argox Information Co., Ltd.</b> (台湾)	2012年に買収したエントリー・モデルのプリンタの開発・製造・販売子会社。
2	<b>Achernar S.A.</b> (アルゼンチン)	2012年に買収した <u>プライマリー</u> 専門子会社。
3	<b>Magellan Technology Pty Ltd.</b> (オーストラリア)	大量のRFIDタグを高速かつ正確に読み取ることができ、金属や液体の影響、および積層状態での読み取りに強く、優位性の高いRFID技術「PJM (Phase Jitter Modulation)」を含む同社の事業を2013年に譲り受け、SATO Vicinity Pty Ltd.を設立。
4	<b>Okil-Holding, JSC</b> (ロシア)	2014年に買収した <u>プライマリー</u> 専門子会社。サトーホールディングスが75%を保有。同国のX-Packは関連会社。
5	<b>Prakolar Rótulos Autoadesivos LTDA.</b> (ブラジル)	2015年に買収した <u>プライマリー</u> 専門子会社。
6	<b>Stafford Press, Inc.</b> (米国)	2023年に買収した花卉用タグ・ラベル(花や植物の品種名や写真が表示され、鉢やプランターに付けるタグやラベル)と、それらをオンデマンドでカラー発行するインクジェットプリンタの製造・販売子会社。
2017年以降に設立した海外子会社		説明
1	<b>X-Pack</b> (ロシア)	シュリンクスリーブ、インモールド、軟包装の製造・販売を行い、サトーホールディングスが60%の株式を保有する <u>プライマリー</u> 専門子会社。2017年設立。
2	<b>SATO Productivity Solutions Mexico S.A. de C.V.</b> (メキシコ)	自動車産業に焦点を当てて事業を展開し、サトーホールディングスがほぼ100%の株式を保有する販売子会社。2019年設立。

【本資料ご利用にあたっての注意事項】

- ・ 本資料に記載の内容は全て2024年8月現在の情報をもとに作成したものです。
- ・ 本資料に記載の内容は予告なく変更することがあります。
- ・ 本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、当社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。
- ・ 本資料の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断り致します。